

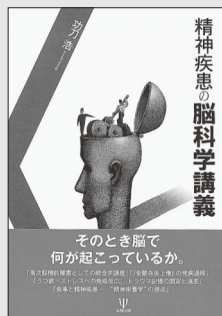
『精神疾患の脳科学講義』

功力浩 著

そのとき脳で何が起こっているか。
「高次脳機能障害としての統合失調症」「金閣寺炎上僧」の発病過程「うつ病＝ストレスへの免疫反応」「トラウマ記憶の固定と消去」「食事と精神疾患——“精神栄養学”の視点」……など、精神疾患を、脳科学、神経科学の視点から捉えた一冊。(帯より)

定価 3150 円 (税込)

金剛出版 電話 03-3815-6661



『方法としての動機づけ面接』

面接によって人と関わるすべての人のために』

原井宏明 著

動機づけ面接 (Motivational Interviewing) は、治そうとすること、理解してやろうとすることがもたらす矛盾を、ありのままに記述し、興味をもって分析するところから始まった。「治そうとすること」「理解してやろうとすること」に対する絶望がスタートである。(緒言より)

定価 3570 円 (税込)

岩崎学術出版社 電話 03-5805-6623



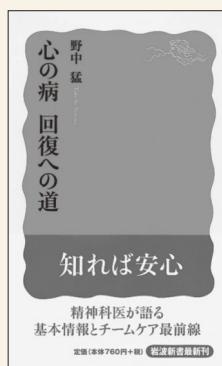
『心の病 回復への道』

野中猛 著

なぜ人は心を病むのか? どのような対処が適切で、回復には何が必要なのか? チームケアにとりくむ精神科医が、身近な具体例とともに、精神障害者のおかれた歴史、精神医学の最新知見や、日本・世界の新たな潮流を紹介する。ハウツーにとどまらず、心にしっかり効く一冊。(袖より)

定価 798 円 (税込)

岩波新書 電話 03-5210-4054



『妄想・幻声・パノニアへの認知行動療法』

ポール・チャドウィック、マックス・バーチウッド、ピーター・トロローワ 著／古村健、石垣琢磨 訳

認知行動療法はさまざまな疾患に適用が広がりが続いているが、我が国での統合失調症への展開は遅れている。本書は、従来心理学的介入の効果が乏しいと考えられてきた、妄想や幻聴という、苦痛が大きく治療も難しい問題に対する認知行動的アプローチを紹介する。(紹介文より)

定価 3045 円 (税込)

星和書店 電話 03-3329-0031



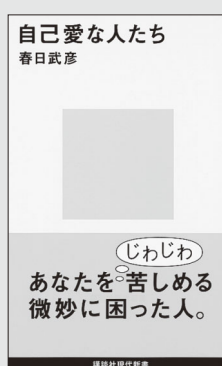
『自己愛な人たち』

春日武彦 著

あなたをじわじわ苦しめる、微妙に困った人……。自己愛には、どこか気恥ずかしさが伴う。あって当然だし、それによって人は支えられる。しかし自己愛を剥き出しにするのは「えげつない」。我々はいつも自己愛を扱いあぐねている。しかも我々はさまざまな形で自己愛を脅かされる。(帯より)

定価 777 円 (税込)

講談社現代新書 電話 03-3945-1111



『こころの治療薬ハンドブック 第8版』

山口登・酒井隆・宮本聖也・吉尾隆 監訳 諸川由実代 編

精神科領域で処方される薬を網羅したハンドブックの 2012 年最新版。最新版では、各薬剤の「実際に処方したときのエピソード」を大幅に改訂し、経験豊富な医師の最近の処方傾向がさらにつかみやすい内容に。精神科の薬物療法に関心のあるメディカルの方にも最適の書。(紹介文より)

定価 2730 円 (税込)

星和書店 電話 03-3329-0031



『うつを克服するための行動活性化練習帳 認知行動療法の新しい技法』

マイケル・E・アデイス、クリストファー・R・マーテル 著／

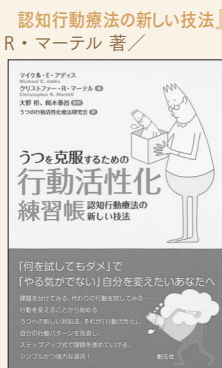
大野裕、岡本泰昌 監訳／

うつでの行動活性化療法研究会 訳

「行動活性化」では、落ち込んでいて体を動かす気になれないと考えるのではなく、体を動かすうちに落ち込みが軽くなると考えるのです。体の動かし方を考えれば、体を動かすだけで、落ち込んだ気持ちが楽になるからです。(監訳者まえがきより)

定価 2415 円 (税込)

創元社 電話 06-6231-9011



『みんなで考える認知症』

長嶺敬彦 著

本書は、誰かが認知症に関連する問題に遭遇したとき、1人で悩まないために書きました。「みんなで考える」ことが認知症問題を解決する一番の方法です。「みんなで考える」とは、認知症で起こってくるさまざまな問題を多面的に捉え、医学、心理学、文化人類学を動員して動的に対処することです。(刊行にあたりより)

定価 1995 円 (税込)

中外医学社 電話 03-3268-2701

